

すべての子どもたちが 学び続けるために



子どもたちは、学校生活の中で、学習や運動、遊びなどをおして成長していきます。しかし、置かれた状況や取り巻く環境によっては、学校に行くのを嫌がったり、不登校になったりするケースが、すべての子どもに起こり得ます。そのような時は、学校に相談してください。

チーム学校(担任のほか、管理職や養護教諭、SC※1、SSW※2など)でどのような支援ができるのか、学校と連携できる学校外の学び場(教育支援センターやフリースクール等)はどのようなものがあるのか、子どもの社会的な自立に向けてより良い方法を一緒に考えましょう。

※1 SC(スクールカウンセラー・心理の専門家)

本人や保護者に対して心理的なアプローチをします。公立小中学校に定期的に勤務し、解決方法を学校・保護者と一緒に考えていきます。

※2 SSW(スクールソーシャルワーカー・福祉の専門家)

家庭環境に関する問題(貧困・虐待・ヤングケアラー等)、不登校、発達に関する課題等に対し、関係機関と連携を図りながら福祉的なアプローチをします。



学校外の学び場

教育支援センター

それぞれの市町村教育委員会が設置する施設で、県内に38か所あります。(2022年5月現在)

教科の学習、体験活動、カウンセリングなどが行われています。



フリースクール等

それぞれの独自性を持ちながら、子どもの社会的自立を支援する民間の団体です。教科の学習、体験活動、自宅で過ごしている子どもたちへの支援などを行っています。



県内の教育支援センターやフリースクール等の情報を群馬県教育委員会のホームページで紹介しています。
(https://www.pref.gunma.jp/03/x23g_00116.htm)

